

2026 年 9 月 24 日
企業会計基準委員会
エフラグ

企業会計基準委員会の代表者とエフラグの代表者がブリュッセルで会合を開催

企業会計基準委員会 (ASBJ) の代表者と、エフラグー企業報告における欧州の声 (EFRAG) の代表者は、2026 年 9 月 24 日にベルギーのブリュッセルで会合を開催しました。

財務報告に関して、川西安喜 ASBJ 委員長は、EFRAG 財務報告審議会 (FRB) 及び EFRAG 財務報告技術的専門家グループ (FR TEG) の合同対面会議に出席し、ASBJ の国内外の活動に関する最新情報を提供しました。また、ASBJ の代表者と EFRAG の代表者は、非公開の会合を持ち、それぞれの活動の最新情報を提供するとともに、両者が関心を寄せる国際会計基準審議会 (IASB) の IFRS 会計プロジェクトについて意見交換を行いました。

ASBJ と EFRAG は、定期的な意見交換を続けていく予定です。

川西安喜 ASBJ 委員長は次のように述べています。

「今回のブリュッセルでの会合を主催いただいた EFRAG に感謝の意を表します。本会合での意見交換を通じて、会計基準に関する多岐にわたる論点への対応について、有益な示唆を得ることができました。今後も EFRAG とのこの実りある対話を継続していくことを期待しております。」

ウルフ・クリンツ EFRAG 財務報告審議会 (FRB) 議長は次のように述べています。

「川西安喜 ASBJ 委員長が、欧州に来られる際に毎年 EFRAG を訪問してくださることを、私たちは心待ちにしております。現在取り組んでいるさまざまな問題について、率直な意見交換ができたことに感謝しています。私たちは円滑に機能する資本市場に共通の関心を有しており、公平な事業の競争並びに投資家及び利用者の利益を守る観点から、報告基準の国際的な適用を支持しています。」

企業会計基準委員会（ASBJ）について

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2001年7月に公益財団法人財務会計基準機構（FASF）の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により日本において一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなります。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発しています。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献しています。ASBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト（<https://www.asb-j.jp/jp/>）をご参照ください。

エフラグ（EFRAG）について（<https://www.efrag.org/>）

EFRAG の使命は、企業報告の分野における欧州の見解の開発及び促進を通じて、財務報告及びサステナビリティ報告の双方において欧州の公共の利益に奉仕することです。EFRAG は、企業報告の進展を基盤とするとともに、その進展に貢献しています。サステナビリティ報告の活動において、EFRAG は、強固なデュー・プロセスの下で作成された欧州サステナビリティ報告基準（ESRS）案の形で欧州委員会に技術的な助言を提供し、ESRS の効果的な導入を支援しています。EFRAG は、基準設定プロセスを通じて、すべての利害関係者から意見を求め、欧州固有の状況についての証拠を入手しています。その正当性は、卓越性、透明性、ガバナンス、デュー・プロセス、公的説明責任及びソート・リーダーシップを基礎としています。これにより、EFRAG は、説得力のある明確で一貫した意見を述べることができ、企業報告における欧州の声として、また企業報告におけるグローバルな進展への貢献者として認識されることが可能となります。